

119番通報の手順

あわてず、落ち着いて、まず住所から！

① 119番です。火事ですか？救急ですか？

(火事・救急)です。

② 住所をいわき市から教えてください(番地まで)

※事前に記入しておきましょう！

③ どなたが どうしましたか？

④ 通報者として、あなたの名前を教えてください。

119番の適正利用について

119番は「緊急ダイヤル」です。

災害、病院の問い合わせ及び救急相談の電話はお控えください。

災害・休日当番医病院の問い合わせはこちら

[消防テレフォンガイド]

050-1808-6119



なお、救急相談についてはこちらでもご利用ください。

- ▶ 救急電話相談 #7119 (毎日24時間)
- ▶ こども救急ダイヤル #8000 (毎日夜7時～翌朝8時)

本当に使える!?

備蓄 資機材 ハンドブック

STOCKPILING MATERIALS AND
EQUIPMENT HANDBOOK

本当に使える!?

備蓄資機材

ハンドブック

STOCKPILING MATERIALS AND
EQUIPMENT HANDBOOK

目次

バルーン投光器	P01
発動発電機	P02-03
非常用トイレ	P04
担架	P05
リヤカー	P06
かまど	P07
パーティション	P08
消火器	P09
119番通報の手順	裏表紙

バルーン 投光器の 使い方



動画で見る

- 備蓄資機材ハンドブック - STOCKPILING MATERIALS AND EQUIPMENT HANDBOOK



1

グリップを緩め三脚を広げます。設置したらグリップを締めてください。



2

三脚のスタンドに投光器本体をセットし、グリップを垂直にゆっくり引っ張ってください。



3

投光器本体と安定器をケーブルで接続します。投光器本体の高さを調整し、ピンを穴に入れて固定してください。



4

電源を入れればバルーンが点灯します。





発動 発電機 の 使い方



動画で見る

発電機は、水平な場所で縦置き状態で使用してください。

- 備 蓄 資 機 材 ハ ン ド ブ ッ ク - STOCKPILING MATERIALS AND EQUIPMENT HANDBOOK

注 意 事 項

- ①建物やその他の設備から1m以上離れた場所で使用しましょう。
- ②まわりに燃えやすいものを近づけないでください。
- ③発電機の周囲を囲ったり箱をかぶせたりしないでください。
- ④エンジン本体やマフラーなどが非常に熱くなっています。
- ⑤使用中は発電機を移動させないでください。
- ⑥屋内では絶対に使用しないでください。
- ⑦屋外でも換気の悪い場所では絶対に使用しないでください



周波数切替スイッチを使い、50Hzに設定します。



メンテナンスカバーを外し、エンジンオイルを確認します。オイルが少ない場合は給油口の口元までオイルを補給します。



発電機にガソリンを補給します。



燃料給油キャップつまみを“ON”の位置にします。



レバーを“チョーク”の位置にあわせます。(エンジンが暖まっているときは操作不要です)



始動グリップを静かに引いて重くなるところで止め、勢いよく引っ張ります。
※始動グリップはゆっくり戻してください。



エンジンの回転が安定したら、レバーを“運転”の位置に徐々に戻します。

【 エンジンが暖まっている時は 】



手順⑤の代わりにレバーを“運転”の位置にあわせ、手順⑥を行います。